

2025 年度公益社団法人乙訓青年会議所

地区大会実行委員会 基本方針

地区大会実行委員会 委員長 松居 伊貴

<p>委員会 設置背景</p>	<p>乙訓地域では市民主導のまちづくり運動が多く行われており、乙訓青年会議所でも地域の発展に向け地域資源の活用や発信を独自で行ってきました。しかし、乙訓地域の資源に偏ったまちづくりを行っていることで、新たな地域資源の活用方法や、持続性のあるまちづくり運動への知見が広がられていない現状があります。また、地域資源の活用や地域の魅力を発信しきれないことから、行った運動は一過性にとどまり、地域社会の発展につなげられていない課題もあります。</p> <p>近畿地区大会主管青年会議所の機会を活かすとともに、乙訓地域に好循環を生み出し、地域社会の持続的な発展へとつなげる必要があります。</p>
<p>委員会 設置目的</p>	<p>地域の垣根を超えた持続可能なまちづくりのモデルケースを生み出すことを目的とします。</p>
<p>委員会 概要</p>	<p>1. 8月セレモニー例会・決起大会の開催</p> <p>主管青年会議所としての当事者意識に乖離がある中、組織全体で地区大会を成功へと導く必要があります。組織が丸となるために、当事者意識の統一を図る場を創出することで、近畿地区大会・乙訓大会に向けた士気を高めます。</p> <p>2. 近畿地区大会・乙訓大会に関する支援・協力</p> <p>地域や組織の発展に寄与する近畿地区大会・乙訓大会の、主管青年会議所を担う中、メンバー一人ひとりの当事者意識を醸成する必要があります。主管青年会議所としての責任感を向上するために、近畿地区協議会と連携し、進捗を共有することで、メンバーに近畿地区大会・乙訓大会に向けた意義や趣旨の理解へとつなげます。</p> <p>3. 副主管締結式</p> <p>近畿地区大会・乙訓大会を開催して行く中、主管青年会議所、副主管青年会議所の関係性を強固にする必要があります。京都府内各地青年会議所の近畿地区大会・乙訓大会に向けた当事者意識を高めるために、協力関係を結ぶ場を創出することで、互いの役割や使命への理解につなげます。</p>
<p>委員会 活動方針</p>	<p>これまで乙訓青年会議所の誰一人経験したことがない、近畿地区大会・乙訓大会の主管を大成功に導くには、今まで以上にメンバーとの信頼関係がないといけません。そのためまずは、委員会メンバーが一枚岩となる必要があります。そして、自分自身に目標をもち、その目標に向かい果敢に挑み、必ず達成する気持ちをこの1年持ち続けます。失敗を恐れず、己に妥協することなく、近畿地区大会・乙訓大会を全力で突き進みやりきることで、一人ひとりがまちに良い影響を与えられる人財になり、組織が変わり、まちが変わります。近畿地区大会・乙訓大会の大成功に向かって一年間邁進してまいります。</p>
<p>委員会 スローガン</p>	<p>自分の目標に挑み何があろうと達成するまでやり続ける！</p>